

“はじめよう！「段ボールコンポスト」” 実施結果！

令和元年9月30日 神戸市リサイクル工房あづま

夏休みの期間を利用して「段ボールコンポスト」を活用することで、家庭から出る「燃えるごみ」をどれくらい減らすことができるのか117世帯のご家族に挑戦していただきました。

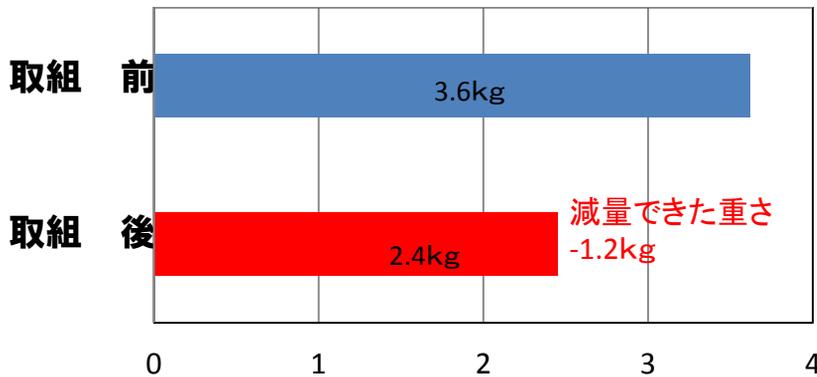
【実施方法】

- ① 7月19日～8月2日（1～2週目）は、なんにもせずにごみの重さを量りました。
- ② 8月2日～8月16日（3～4週目）は、「段ボールコンポスト」をはじめ、ごみの重さを量りました。

ご参加いただいた半数以上にあたる62世帯のご家族から重さの記録と感想を書いた報告書をいただきましたので、内容をご紹介します。

○こんなに減りました！！

ごみ出し1回あたりの重さの平均を段ボールコンポストに取り組む前と後で比較してみると下のグラフのようになりました。



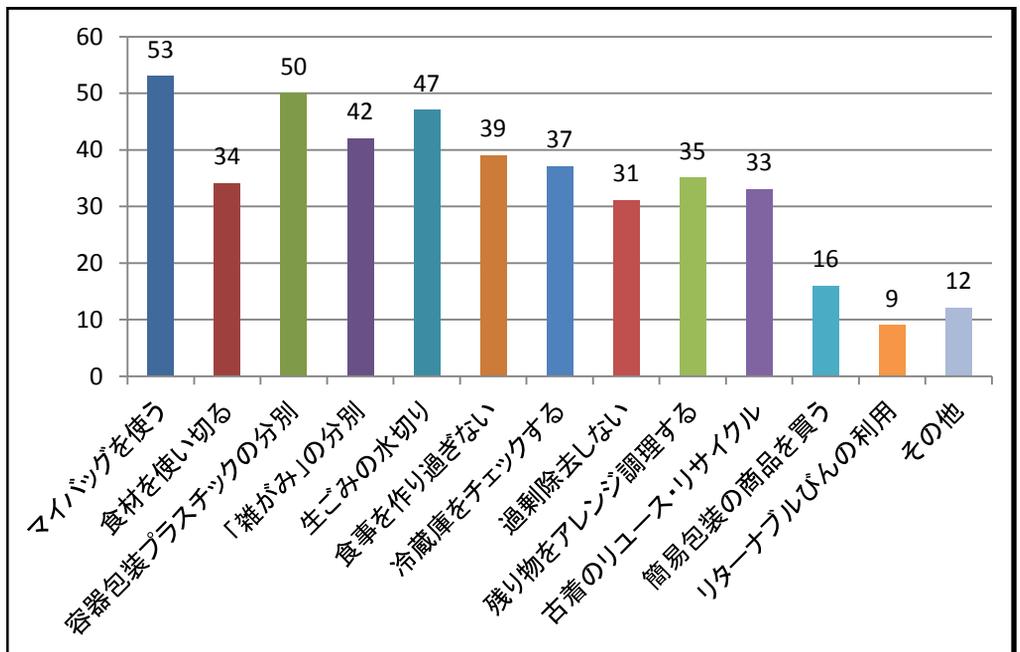
報告いただいた87%の世帯がごみの減量に成功したんやで！



○コンポストの他にも、こんな減量方法に取り組んでみました！

(世帯数)

※複数回答あり



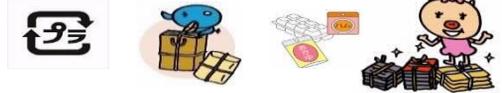
家庭でできる減量方法はいろいろあるのね。



お寄せいただいた感想の中から、一部をご紹介しますいただきます。

○ごみについてたくさん考えました

- ・ごみ袋の中はくさくて、マスクを使ってもごみの匂いがもれて鼻がまがりそうでした。
- ・食べる分だけ買ってむだをなくした。トイレトペーパーのしんやおかしの箱やティッシュ箱は資源ごみに出してリサイクルできるようにする。
- ・もえるごみの中にたくさんのプラスチックごみが入っていたのでもっと分別できると思った。
- ・ごみをへらそう大作戦をした。もえるごみをへらすために、食料品は食べきれぬ量だけ、生ごみをダンボールコンポストで土にリサイクル分別する。資源ごみとして出せるごみは出して分別する。



○段ボールコンポストってすごい！

- ・スイカの皮を入れたら皮一枚になっている。魚の皮はちぢんで鳥肉の皮は3日ほどでなくなった。なしの皮はペラペラになって残っていて、トマトのへたは2日ほどでわからなくなった。
- ・毎日生ごみをコンポストに入れておくと、ペットにエサをあげているみたいで楽しかった。
- ・人間にとっておいしいものは大好物。米ぬかや食用油を入れるとおいもなくなってくる。
- ・ごみ出しの時生ごみのおいがきょうれつだったけれどコンポストに入れた生ごみはにおいがしなくなった。土のにおい！
- ・生ごみを入れるのでくさくなるかと思ったけど、土のにおいしなかった。ダンボールコンポストは家庭ごみもへると地球にもやさしいのでいい方法だ。これからも続けたい。



○こんなことにも気づいたよ

- ・水を切ってから入れたほうが良い。一日に入れる量をへらしたり、米ぬかや食用油を入れると分解が進んで温度が上がってくるとにおいがしなくなってくる。
- ・くさるようなにおいがすると思っていたけど、そんなに変わらなかった。温度が高くなってふたを開けたら湯気が出てきた。
- ・ごはんを残さない。残したらごみがふえる。好ききらいをしないとごみがへる。
- ・沢山つかっているティッシュの使い方を考えた。ごみをへらすということは、将来の地球のためにもなることなので、これからも続けていきたい。



○家族と一緒に！

- ・ごみの分別を家族全員ができるようになって、5歳の弟も分別ができるようになってよかったです。
- ・お父さんはごみの分別がまだあまりわかっていないので、これから教えてあげたい。神戸市みんなでダンボールコンポストをやれば、ごみが本当にへると思う。わが家ではこのままダンボールコンポストを続けていきたい。
- ・コンポストを始めて今までよりきっちりとごみの分別をするようになった。これからもがんばって続けようと思う。
- ・夏休みが終わっても、家族みんなでダンボールコンポストを続けようと思う。



リサイクル工房あづまより

感想の中に、ダンボールコンポストに取り組んで「土のにおい」を感じてくれたお友達が沢山おられました。うれしかったです！
初めて自分の家のごみを知って、これから自分たちにできる方法でごみを減らしていきましょう。

